

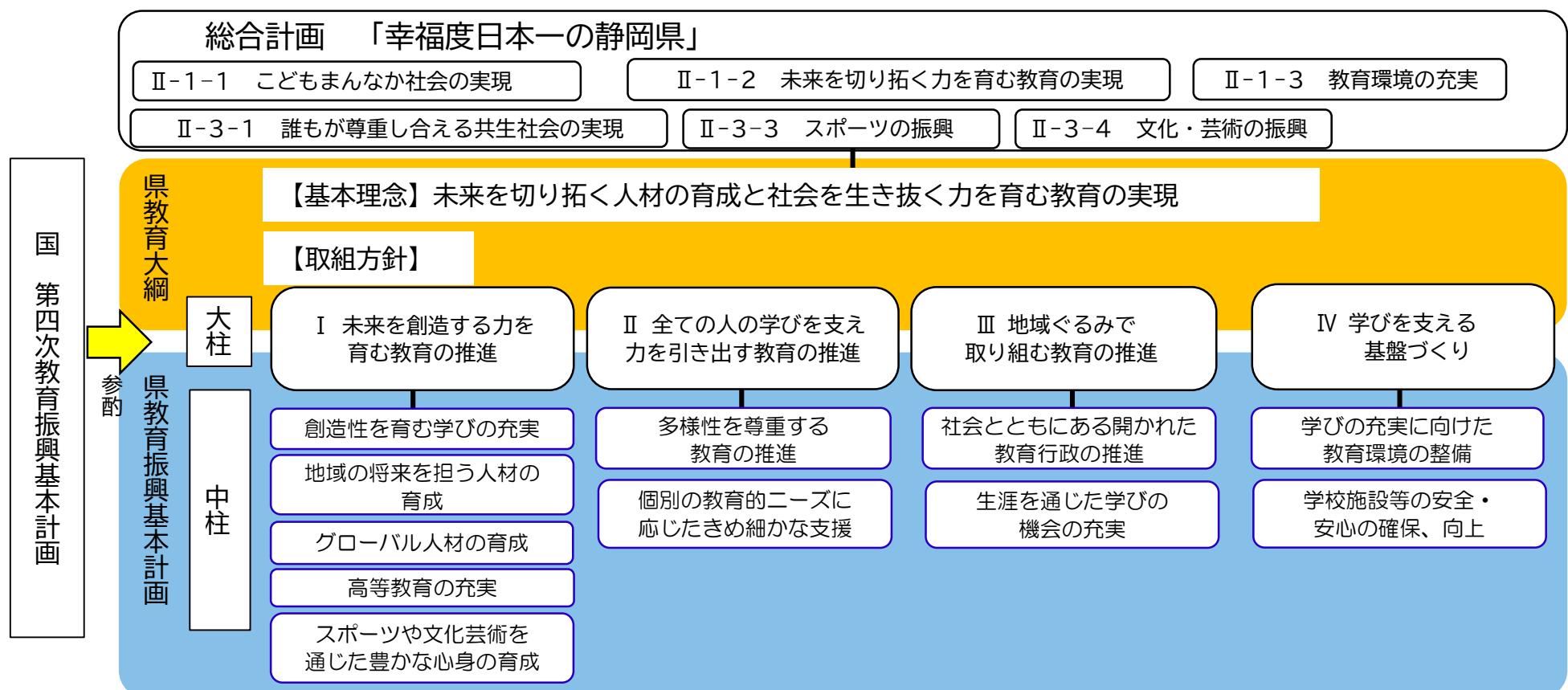
次期県教育振興基本計画の策定方針

(総合教育課)

1 計画期間 2025(令和7)年度～2028(令和10)年度 (大綱と同一期間)

2 位置付け

- ・教育基本法第17条第2項※に規定する「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」
(※国の計画を参照し、地域の実情に応じ計画を定めるよう努めなければならない)
- ・静岡県総合計画の分野別計画
 - 教育に関する基本理念・取組方針 ⇒ 「静岡県教育大綱」
 - 取組方針の達成に向けた具体的施策 ⇒ 「静岡県教育振興基本計画」



3 策定方針

課題
背景

教育を取り巻く社会環境の変化が急激（少子化やAI技術の進展など）で予測困難

- ・急激な少子化により、幼児教育から高等教育まで、統合・再編など学校規模の適正化が求められている
- ・AI技術の進展などにより、地域社会で求められる人材像が変化し、教育内容も対応が求められている



方針①

ウェルビーイングの視点で、施策や取組を随時見直し

- ・教育を取り巻く「社会環境の変化を受け入れる」ことを前提に、現時点で優先度の高い施策・取組を計画に記載
- ・幸福度県民調査のうち、教育に関連する指標及び関係が深い因子の数値を基に、随時、必要な施策・取組を見直す

課題
背景

個々の指標と計画全体の成果との関係性が不明確で効果測定が困難

- ・現計画で設定している成果指標と活動指標について、活動指標・成果指標・各柱の目標との関係性が希薄である
- ・各指標の達成度が、本県教育の振興にどのように寄与しているかの効果測定が困難



方針②

総合計画の指標と連動させ、個々の取組は指標ではなく実績で進行管理

- ・総合計画のうち教育関連の指標を教育振興基本計画の基本的な指標とし、小柱に設定する指標で補完する
- ・計画に記載する個々の施策・取組は、各担当部局が実績値をダッシュボード等で共有し、進捗の見える化を図る

4 計画概要

区分	現計画（2022→2025）	次期計画（2025→2028）
基本理念 (大綱)	「有徳の人」の育成 ～誰一人取り残さない教育の実現～	未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む 教育の実現
取組方針 (大柱)	第1章 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現 第2章 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現 第3章 社会総がかりで取り組む教育の実現	I 未来を創造する力を育む教育の推進 II 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進 III 地域ぐるみで取り組む教育の推進 IV 学びを支える基盤づくり (国第4次教育振興基本計画の総括的な基本方針を参照)
計画の概要	特徴	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢の変化を踏まえ、多様性を尊重する教育や生涯学習を中柱に位置付けたほか、グローバル人材や地域の担い手の育成等の取組を1つの中柱に統合して「グローバル・グローカル人材の育成」として掲載
	柱立て	<ul style="list-style-type: none"> 大柱、中柱、小柱で構成
	取組	<ul style="list-style-type: none"> 計画に関する取組を網羅的に記載（全487本）
	指標	<ul style="list-style-type: none"> 計画本体に小柱ごとに記載（全252指標）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 県民意見の反映
	体裁	<ul style="list-style-type: none"> 冊子を作成（A4縦 120ページ 3,500部） PDF版を県HPに掲載

5 現行の計画と章立ての比較

現計画（2022→2025）	次期計画（2025→2028）素案
第1章 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現	I 未来を創造する力を育む教育の推進
1 「知性」・「感性」を磨く学びの充実 ・個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化 ・ICT等の活用による新たな学びの展開 ・乳幼児の教育・保育の充実 ・子どもの読書活動の推進	1 創造性を育む学びの充実 ①個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化 ②乳幼児の教育・保育の充実 ③優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実 ④高等学校の魅力化・特色化 ⑤活力ある多文化共生社会の実現に向けた教育環境の充実
2 「技芸を磨く実学」の奨励 ・社会的・職業的自立に向けた教育の推進 ・スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進 ・多彩で魅力的な文化・芸術の創造・発信 ・地域資源の活用と未来への継承	2 地域の将来を担う人材の育成 ①勤労観・職業観を育む教育の推進 ②専門的職業人材の育成
3 学びを支える魅力ある学校づくりの推進 ・高等学校の魅力化・特色化 ・教職員の資質向上及び学校マネジメント機能の強化 ・教職員の働き方改革の推進 ・学校施設等の安全・安心の確保	3 グローバル人材の育成 ①国際的な学びと地域学の推進
第2章 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現	4 高等教育の充実 ①高等教育機能の強化、大学間・産学官連携
1 多様性を尊重する教育の実現 ・人権を尊重する教育の推進と人権文化の定着 ・多様な課題に応じたきめ細かな支援 ・特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実 ・外国人県民・外国人児童生徒への教育の充実	5 スポーツや文化・芸術を通じた豊かな心身の育成 ①スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進 ②文化芸術活動の活性化、地域資源の活用と未来への継承
2 グローバル・グローカル人材の育成 ・国際的な学びと地域学の推進 ・優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実 ・地域産業を担う人材の育成 ・自他の安全を守るために適切な判断・行動のできる人材の育成 ・環境保全と経済活動の両立を支える人材の育成	II 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進
3 高等教育の充実 ・高等教育機能の強化	1 多様性を尊重する教育の推進 ①人権教育の推進と人権文化の定着
4 生涯を通じた学びの機会の充実 ・全世代に対する学びの機会の充実 ・誰もがともに学ぶことのできる機会の充実	2 個別の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援 ①一人ひとりに応じた多様で柔軟な支援 ②こどもや保護者の負担軽減 ③特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実
第3章 社会総がかりで取り組む教育の実現	III 地域ぐるみで取り組む教育の推進
1 社会とともにある開かれた教育行政の推進 ・社会全体の意見を反映した教育行政の推進 ・市町と連携した教育行政の推進	1 社会とともにある開かれた教育行政の推進 ①社会全体の意見を反映した教育行政の推進 ②学校・家庭・地域の連携推進
2 地域ぐるみの教育の推進 ・学校・家庭・地域の連携推進 ・家庭や地域における教育力の向上	2 生涯を通じた学びの機会の充実 ①全世代に対する学びの機会の充実
	IV 学びを支える基盤づくり
	1 学びの充実に向けた教育環境の整備 ①教職員の資質向上、教職員の働き方改革の推進 ②教育DXの推進による学びの充実
	2 学校施設等の安全・安心の確保、向上 ①学校施設等の整備・充実 ②児童生徒等の安全確保

素案

静岡県教育振興基本計画
2025→2028



本県の現状・課題・今後の方向性

本県では、2022(令和4)年3月に「静岡県教育振興基本計画2022→2025」を策定し、教育行政を推進してきました。この間、社会は、人口減少や少子高齢化、AI技術の進展、コロナ禍や世界情勢の不安定化等、予測困難な時代を迎えています。本県が直面する課題を解決し、持続的な発展につなげていくためには、自ら課題を的確に捉え、解決につなげる能力を持ち、未来を切り拓いていくことのできる多様な人材を育てていくことが重要です。

現状

<本県の将来推計人口>

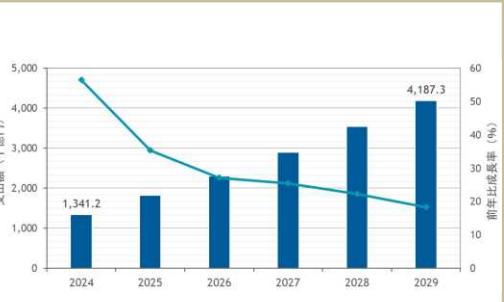


【出典】1950~2020年:総務省統計局「人口推計」、2025~2050年:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」をもとに作成

<本県の不登校児童数推移(小学校)>



<国内AIシステムの市場規模(支出額)及び予測>



【出典】IDCJapan「国内AIシステム市場予測(2025年5月)」

<本県の公立小中高教員採用試験志願者数推移>



【出典】静岡県教育委員会調査

課題

予測困難な時代、求められる人材の変化

- ・社会情勢の変化、持続可能性の危機に対応できる人材の育成が必要
- ⇒ I 未来を創造する力を育む教育の推進

支援を必要とする児童生徒の増加

- ・個々のニーズに沿った学びの支援が必要
- ⇒ II 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進

教育課題の多様化、複雑化

- ・地域、家庭、企業等との連携による学びの充実が必要
- ⇒ III 地域ぐるみで取り組む教育の推進

教育の質向上のための環境整備

- ・時代や状況に応じて学びの基盤の変革が必要
- ⇒ IV 学びを支える基盤づくり

静岡県教育振興基本計画の体系

本県では、2025(令和7)年3月に策定した「静岡県教育大綱」において、国の教育振興基本計画を参照し、本県教育の基本理念として「未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現」を掲げるとともに、基本理念の実現に向けた4つの取組方針を定めました。

新たな静岡県教育振興基本計画においては、この4つの取組方針を計画の柱とし、その達成に向け重点的に取り組むべき11の施策を示しました。

○計画期間

2025(令和7)年度～2028(令和10)年度（大綱と同一期間）

○計画の位置付け

教育基本法第17条第2項に規定する「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」

総合計画 「幸福度日本一の静岡県」

- II-1-1 こどもまんなか社会の実現
- II-1-2 未来を切り拓く力を育む教育の実現
- II-1-3 教育環境の充実
- II-3-1 誰もが尊重し合える共生社会の実現
- II-3-3 スポーツの振興
- II-3-4 文化・芸術の振興

国
第四次教育振興基本計画

参照
県教育大綱

【基本理念】未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現

【取組方針】

大柱

I 未来を創造する力を育む教育の推進

II 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進

III 地域ぐるみで取り組む教育の推進

IV 学びを支える基盤づくり

中柱

創造性を育む学びの充実
地域の将来を担う人材の育成

グローバル人材の育成

高等教育の充実

スポーツや文化芸術を通じた豊かな心身の育成

多様性を尊重する教育の推進

個別の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援

社会とともにある開かれた教育行政の推進

生涯を通じた学びの機会の充実

学びの充実に向けた教育環境の整備

学校施設等の安全・安心の確保、向上

4つの取組方針・各施策や個別取組

- それぞれの取組方針の成果を測る指標として、総合計画の関連する政策の成果指標を設定し、総合計画と有機的に連携させることにより、教育政策体系を一体的かつ整合的に整理し、県民幸福度の向上に向け、実効性の高い取組を推進します。
- また、小柱単位で個別の取組に即した詳細な指標を設定し、計画の進捗を管理します。

【総合計画の指標】

指標名	現状値	目標値	政策体系
自分の将来に対する夢や希望を持っている児童生徒の割合	(R6年度) 中 67.2% 高 73.3%	(R10年度) 中 80.0% 高 80.0%	
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている児童生徒の割合	(R5年度) 小 86.4% 中 87.8%	(毎年度) 小 90.0% 中 90.0%	II-1-2 未来を切り拓く力を育む教育の実現
就学の働きかけの対象となる外国人児童生徒の数	(R6年度) 70人	(R10年度) 35人	
やさしい日本語が使えると答えた日本人の割合	(R6年度) 31.4%	(R10年度) 40.0%	II-3-1 誰もが尊重し合える共生社会の実現
高等教育機関から海外への留学生数	(R5年度) 665人	(R10年度) 1,100人	II-1-2 未来を切り拓く力を育む教育の実現
外国人留学生数	(R6年度) 4,989人	(R10年度) 5,300人	
する、みる、支えるのいずれかの形でスポーツに親しだした県民の割合	(R2～R5年度) 88.3%	(R7～R10年度) 93.0%	II-3-3 スポーツの振興
1年間に文化・芸術の鑑賞又は活動を行った人の割合	(R5年度) 54.7%	(R10年度) 70.0%	II-3-4 文化・芸術の振興
「人権尊重の意識が生活の中に定着した県」であると感じる県民の割合	(R6年度) 30.4%	(R10年度) 50.0%	II-3-1 誰もが尊重し合える共生社会の実現
固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合	(R6年度) 69.8%	(R10年度) 80.0%	II-3-1 誰もが尊重し合える共生社会の実現
性の多様性理解等促進に関する施策を実施した市町の数	(R6年度) 22市町	(R10年度) 35市町	
相談できる人がいると答える児童生徒の割合	(R6年度) 小 95.7% 中 93.2%	(毎年度) 小 100% 中 100%	II-1-2 未来を切り拓く力を育む教育の実現
大人や社会が自分の意見を聴いてくれていると思うことども・若者の割合	(R5年度) 41.9%	(R10年度) 64.4%	II-1-1 こどもまんなか社会の実現
「地域の子どもをはぐくむ活動」に参加したと回答する人の割合	(R6年度) 27.4%	(毎年度) 30.0%	
「児童生徒と向き合う時間」や「指導準備時間」が増えていると感じている教員の割合	(R6年度) 小 56.5% 中 56.6% 高 56.9% 特 62.3%	(毎年度) 小 70.0% 中 70.0% 高 70.0% 特 70.0%	II-1-3 教育環境の充実

【教育振興基本計画】

総計の指標を大柱の指標に設定

I 未来を創造する力を育む教育の推進

- 1 創造性を育む教育の推進
- 2 地域の将来を担う人材の育成
- 3 グローバル人材の育成
- 4 高等教育の充実
- 5 スポーツや文化芸術を通じた豊かな心身の育成

II 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進

- 1 多様性を尊重する教育の推進
- 2 個別の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援

III 地域ぐるみで取り組む教育の推進

- 1 社会とともにある開かれた教育行政の推進
- 2 生涯を通じた学びの機会の充実

IV 学びを支える基盤づくり

- 1 学びの充実に向けた教育環境の整備
- 2 学校施設等の安全・安心の確保、向上

本県のウェルビーイング向上に向けた施策の検討

○これまでの計画では、主に客観指標を用いて各取組の進捗とその評価を行なながら、進捗管理や取組の充実を図ってきました。しかし客観指標だけでは、本県の教育施策が県民にどのように捉えられ、どんな影響を及ぼしているのかを把握することが難しいという課題がありました。

○本計画からは、「ウェルビーイング」の視点を取り入れ、幸福度調査における教育関連の主観指標を含めたウェルビーイング指標を分析して、本県教育施策が幸福度実感に對してどの程度貢献しているのか把握します。

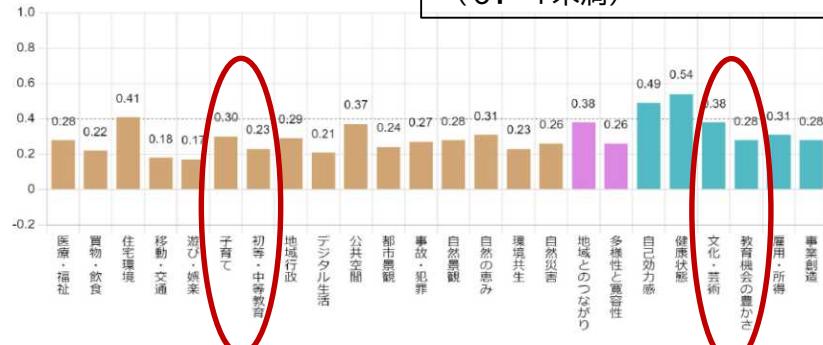
本県の教育施策が県民のウェルビーイングの向上にどう影響するのかを、幸福度県民調査における教育関連指標等により分析・検討



県民意識を踏まえ、各施策をさらに充実・強化

【本県の県民幸福度と因子の相関関係】

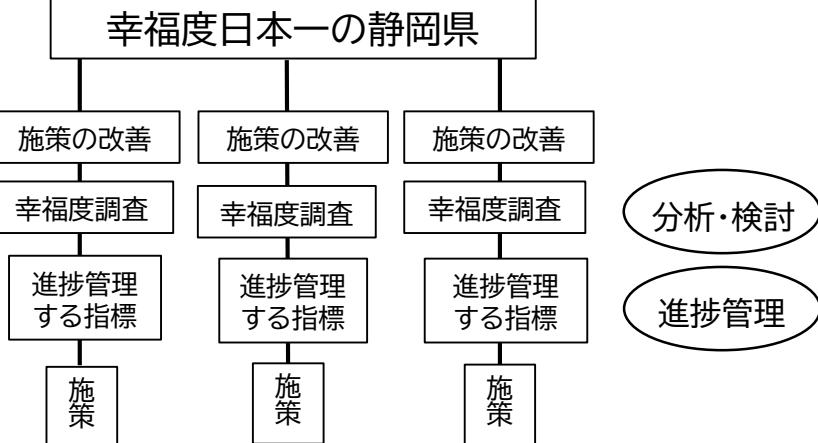
● 生活環境 ● 地域の人間関係 ● 自分らしい生き方



活用

教育・文化関連のウェルビーイング
因子が県民幸福度への寄与が低い
(0.4未満)

【ウェルビーイングの視点を取り入れた施策形成】



【出典】2025年度版(令和7年度版) Well-Being 全国調査

I 未来を創造する力を育む教育の推進

目指す姿

○自ら課題を的確に捉え、解決につなげる能力とともに、時代の先を読みつつ、新しいことに貪欲に挑戦し、新たな価値を創造できる力を育む教育を推進します。

○グローバルな視点と郷土に対する愛情を持って静岡県に貢献する人を育てます。

成果を測る指標(総合計画の指標)

指標名	現状値	目標値
自分の将来に対する夢や希望を持っている児童生徒の割合	(R6年度) 中 67.2% 高 73.3%	(R10年度) 中 80.0% 高 80.0%
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	(R5年度) 小 86.4% 中 87.8%	(毎年度) 小 90.0% 中 90.0%
就学の働きかけの対象となる外国人児童生徒の数	(R6年度) 70人	(R10年度) 35人
やさしい日本語が使えると答えた日本人の割合	(R6年度) 31.4%	(R10年度) 40.0%
高等教育機関から海外への留学生数	(R5年度) 665人	(R10年度) 1,100人
外国人留学生数	(R6年度) 4,989人	(R10年度) 5,300人
する、みる、支えるのいずれかの形でスポーツに親しんだ県民の割合	(R2～R5年度) 88.3%	(R7～R10年度) 93.0%
1年間に文化・芸術の鑑賞又は活動を行った人の割合	(R5年度) 54.7%	(R10年度) 70.0%

推進する取組の方針

1 創造性を育む学びの充実

- ①個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化
- ②乳幼児の教育・保育の充実
- ③優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実
- ④高等学校の魅力化・特色化
- ⑤活力ある多文化共生社会に向けた教育環境の充実

2 地域の将来を担う人材の育成

- ①勤労観・職業観を育む教育の推進
- ②専門的職業人材の育成

4 高等教育の充実

- ①高等教育機能の強化、大学間・産学官連携の推進

3 グローバル人材の育成

- ①国際的な学びと地域学の推進

5 スポーツや文化芸術を通じた豊かな心身の育成

- ①スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進
- ②文化芸術活動の活性化、地域資源の活用と未来への継承

I 未来を創造する力を育む教育の推進

1 創造性を育む学びの充実

【目指す方向性】

- 全てのこどもたちが、夢や希望を実現し、一人ひとりが持つ能力を伸ばすため、きめ細かな指導の充実を図ります。

- 自ら課題を的確に捉え、他者との協働による課題解決を通じて、学びに向かう力・人間性を育みます。

画像

(画像名)

①個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化

- 35人学級編制、教科担任制の導入促進、授業改善の推進

・

- 小1ギャップ解消

・

- 探究的な学びの充実

・

- 非認知能力の育成

・

指標名	現状値	目標値

I 未来を創造する力を育む教育の推進

1 創造性を育む学びの充実

【目指す方向性】

○こどもの発達や学びの連続性を保障するため、幼児教育と小学校教育円滑に接続する取組を推進します。

○保育の質の向上が求められる中、保育士の専門性の向上を図ります。

画像

(画像名)

②乳幼児の教育・保育の充実

○幼保小の円滑な接続の推進、かけ橋期の教育・保育の充実

・

○幼児教育に関わる教職員の専門性の向上

・

○私立幼稚園の自主性、独自性を活かした取組支援

・

指標名	現状値	目標値

I 未来を創造する力を育む教育の推進

1 創造性を育む学びの充実

【目指す方向性】

○ 压倒的に不足することが予想されているデジタル人材を育成します。

○ より良い社会の形成に必要な「新たな価値を生み出す創造力」やイノベーティブな思考を持った人材を育成します。

画像

(画像名)

③優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実

○ 高度デジタル人材の育成、アントレプレナーシップ教育の充実

・

○ STEAM教育・理数教育の推進、消費者教育の推進、地域活動を牽引するリーダー等の養成

・

指標名	現状値	目標値

I 未来を創造する力を育む教育の推進

1 創造性を育む学びの充実

【目指す方向性】

- 社会の変化や児童生徒、保護者、地域社会の多様なニーズに応える学校づくりを推進します。

画像

(画像名)

④高等学校の魅力化・特色化

- 行きたい学校づくりの推進

・

- 県立高校の在り方検討と具現化

・

- 私立学校の自主性・独自性を活かした取組支援

・

指標名	現状値	目標値

I 未来を創造する力を育む教育の推進

1 創造性を育む学びの充実

【目指す方向性】

- 多文化共生社会を形成するため、外国ルーツの県民や児童生徒の日本語支援や生活環境の整備を充実を図ります。

画像

(画像名)

⑤活力ある多文化共生社会に向けた教育環境の充実

○ 多文化共生意識の醸成

・

○ 外国ルーツの県民に対する日本語支援の充実

・

○ 外国ルーツの児童生徒への日本語支援・キャリア形成支援・就学促進

・

指標名	現状値	目標値

I 未来を創造する力を育む教育の推進

2 地域の将来を担う人材の育成

【目指す方向性】

- 将来の予測が困難な時代においても、こどもたち一人ひとりが自分らしい生き方で、持続可能な社会の担い手として能力を発揮できるよう、様々な社会的变化に柔軟に対応できる力を育む教育を推進します。

- 勤労観、職業観を育みながら、新しいことに貪欲に挑戦することができる人材を育成します。

画像

(画像名)

①勤労観・職業観を育む教育の推進

○切れ目のないキャリア教育の推進

・

○企業等との連携による職場見学・職場体験等の促進

・

○生徒に適した職業のマッチング推進

・

指標名	現状値	目標値

I 未来を創造する力を育む教育の推進

2 地域の将来を担う人材の育成

【目指す方向性】

- 生産年齢人口が減少する中、地域産業の担い手の確保が難しくなっています。多様な人材が能力を発揮し活躍するために、産学官の連携により、県内産業を支える人材を育成します。

画像

(画像名)

②専門的職業人材の育成

○ 県内産業を支える多様な人材の育成

・

○ 産業教育の在り方の検討

・

○ 大学や企業等との連携による高度な専門知識を備えた職業人材の育成

・

指標名	現状値	目標値

I 未来を創造する力を育む教育の推進

3 グローバル人材の育成

【目指す方向性】

○ 地域が直接世界とつながる時代の中、国際的な感覚や視野を持って、地域社会の創造、発展に貢献できるよう、多文化理解や、国際交流の促進、外国語教育等を推進します。

○ グローバルな視野で幅広く国際社会や地域社会で活躍し、貢献できる人材を育成します。

画像

(画像名)

①国際的な学びと地域学の推進

○国内外での国際交流や留学の促進

・

○地域学の推進

・

○国際バカロレア教育の導入

・

○外国語教育の充実

・

指標名	現状値	目標値

I 未来を創造する力を育む教育の推進

4 高等教育の充実

【目指す方向性】

- 社会の第一線で活躍する多様な人材を育成するため、公立大学法人への支援の充実のほか、大学間及び大学・地域連携の促進等により、高等教育機関の教育・研究機能の充実とその成果の地域還元を図ります。

画像

(画像名)

①高等教育機能の強化、大学間・产学官連携の推進

○公立大学法人の教育・研究活動の支援

・

○専門知識を持つ農業人材の育成

・

○ふじのくに地域・大学コンソーシアムの取組支援

・

指標名	現状値	目標値

I 未来を創造する力を育む教育の推進

5 スポーツや文化芸術を通じた豊かな心身の育成

【目指す方向性】

- スポーツを通じて県民が国内外の様々な地域と交流する機会や幅広い世代間の交流を図る機会の創出等により、県民のライフステージに応じた健康づくりを推進します。

画像

(画像名)

①スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進

- スポーツを活用した地域と経済の活性化
 - ・
- 県民のスポーツへの参加機会の充実
 - ・
- アスリートや指導者の育成
 - ・
- 体力向上の取組、部活動の地域展開等への支援
 - ・
- 健康教育の充実
 - ・

指標名	現状値	目標値

I 未来を創造する力を育む教育の推進

5 スポーツや文化芸術を通じた豊かな心身の育成

【目指す方向性】

- 本県の文化の国内外への発信や県民が気軽に文化に触れる機会の創出等により豊かな感性を育てるとともに、文化の持つ力を生かした魅力ある地域づくりを推進します。

画像

(画像名)

②文化芸術活動の活性化、地域資源の活用と未来への継承

○文化芸術に触れられる機会の拡充

・

○県内の食文化の魅力発信

・

○部活動外部指導者の派遣

・

○世界文化遺産等の文化財の保存管理と価値発信

・

指標名	現状値	目標値

Ⅱ 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進

目指す姿

個々の実情やニーズに沿った多面的・総合的な支援を実施することで全ての人の可能性を引き出すとともに、社会を生き抜く力を育む教育を推進します。多様性を尊重し、個に応じて誰もが社会の担い手として活躍できる社会を目指します。

成果を測る指標(総合計画の指標)

指標名	現状値	目標値
「人権尊重の意識が生活の中に定着した県」であると感じる県民の割合	(R6年度) 30.4%	(R10年度) 50.0%
固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合	(R6年度) 69.8%	(R10年度) 80.0%
性の多様性理解等促進に関する施策を実施した市町の数	(R6年度) 22市町	(R10年度) 35市町
相談できる人がいると答える児童生徒の割合	(R6年度) 小 95.7% 中 93.2%	(毎年度) 小 100% 中 100%

推進する取組の方針

1 多様性を尊重する教育の推進

- ①人権教育の推進と人権文化の定着

2 個別の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援

- ①一人ひとりに応じた多様で柔軟な支援
- ②こどもや保護者への負担軽減
- ③特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実

Ⅱ 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進

1 多様性を尊重する教育の推進

【目指す方向性】

- 教育的ニーズの多様化や、様々な支援を必要とする児童生徒が増加する中、一人ひとりの多様性を認め、互いに尊重する教育を推進します。

画像

(画像名)

①人権教育の推進と人権文化の定着

- 教職員や児童生徒の人権意識醸成の更なる推進

・

- いじめの未然防止と早期対応

・

指標名	現状値	目標値

Ⅱ 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進

2 個別の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援

【目指す方向性】

- 一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援を実施するとともに、こどもたちの個性や感性を大切にしながら可能性を伸ばす教育を推進します。

画像

(画像名)

①一人ひとりに応じた多様で柔軟な支援

- 不登校児童生徒等への多様な学びの提供
- 校内支援センターの設置促進
- 相談支援体制の強化

指標名	現状値	目標値

Ⅱ 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進

2 個別の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援

【目指す方向性】

- 全ての子どもが生まれ育った環境や経済的理由に左右されず教育を受けられるようにするため、子どもや保護者に対する支援の充実を図ります。



②こどもや保護者への負担軽減

○子どもの居場所づくり支援

- ・

○教育に関する経済的な負担の軽減

- ・

指標名	現状値	目標値

Ⅱ 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進

2 個別の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援

【目指す方向性】

- 多様な学びの整備や障害に関する理解の深まり等により、特別な支援を必要とする児童生徒が増加しています。障害のある児童生徒一人ひとりに応じた指導・支援の充実を図るとともに、教育的ニーズに応じた適切な教育を提供する仕組みの整備を推進します。

画像

(画像名)

③特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実

○特別支援教育の充実

・

○医療的ケア児への支援

・

○AIアシストツールの開発による支援の充実

・

指標名	現状値	目標値

III 地域ぐるみで取り組む教育の推進

目指す姿

地域との連携により魅力ある学校づくりを進めるとともに、学校、家庭、地域等が主体的に連携し互いに学びを支え合うことにより、地域ぐるみで教育を推進します。誰もが生涯を通じて学び続けることのできる環境を整備し、地域社会を担う人を育てます。

成果を測る指標(総合計画の指標)

指標名	現状値	目標値
大人や社会が自分の意見を聴いてくれていると思う子ども・若者の割合	(R5年度) 41.9%	(R10年度) 64.4%
「地域の子どもをはぐくむ活動」に参加したと回答する人の割合	(R6年度) 27.4%	(毎年度) 30.0%

推進する取組の方針

1 社会とともにある開かれた教育行政の推進

- ①社会全体の意見を反映した教育行政の推進
- ②学校・家庭・地域の連携推進

2 生涯を通じた学びの機会の充実

- ①誰もが生涯を通じてともに学ぶことのできる機会の充実

III 地域ぐるみで取り組む教育の推進

1 社会とともにある開かれた教育行政の推進

【目指す方向性】

○複雑化、多様化する教育課題の解決に向け、社会全体の意見を反映した開かれた教育行政を推進します。さらに、学校、家庭、地域等の多様な人々との関係を築きながら、共に学び支え合う教育環境を整備していきます。

画像

(画像名)

①社会全体の意見を反映した教育行政の推進

○総合教育会議、外部有識者等の意見を踏まえた取組の評価

・

○こどもの意見聴取及び施策への反映

・

○しづおかこども幸せプランの推進

・

○市町教育委員会との連携

・

指標名	現状値	目標値

III 地域ぐるみで取り組む教育の推進

1 社会とともににある開かれた教育行政の推進

【目指す方向性】

- 学校、家庭、地域等との連携・協働を推進するとともに、地域ぐるみでこどもたちの学びを支える環境づくりに取り組みます。



②学校・家庭・地域の連携推進

- コミュニティスクール・地域学校協働活動との一体的推進
 - ・
- 家庭教育の充実
 - ・
- 企業や大学等との連携による教育の充実
 - ・

指標名	現状値	目標値

III 地域ぐるみで取り組む教育の推進

2 生涯を通じた学びの機会の充実

【目指す方向性】

- 全ての県民が目標や生きがいを持って豊かな人生を送ることができるように、県民の多様な学習ニーズへの支援、職業に必要な知識やスキルを身に付けるための社会人の学びの機会の充実など、誰もが生涯を通じて学び続けることのできる環境づくりを推進します。

画像

(画像名)

①誰もが生涯を通じてともに学ぶことのできる機会の充実

○生涯学習の推進

・

○夜間中学における個に応じた学びの充実

・

○青少年育成

・

○県立中央図書館の整備

・

○外国人県民の日本語能力の向上と多文化共生の場の充実を図る地域日本語教育の体制づくり

指標名	現状値	目標値

IV 学びを支える基盤づくり

目指す姿

教職員の資質向上や働き方改革を進めるとともに、教育DXにより学びの高度化や校務の効率化等を図り、学びを支える基盤を充実します。
学校施設等の安全安心を確保するとともに、過ごしやすい環境の整備を推進します。

成果を測る指標(総合計画の指標)

指標名	現状値	目標値
	(R6年度)	(毎年度)
「児童生徒と向き合う時間」や「指導準備時間」が増えていると感じている教員の割合	小 56.5% 中 56.6% 高 56.9% 特 62.3%	小 70.0% 中 70.0% 高 70.0% 特 70.0%

推進する取組の方針

1 学びの充実に向けた教育環境の整備

- ①教職員の資質向上、教職員の働き方改革の推進
- ②教育DXの推進による学びの充実

2 学校施設等の安全・安心の確保、向上

- ①学校施設等の整備・充実
- ②児童生徒等の安全確保

IV 学びを支える基盤づくり

1 学びの充実に向けた教育環境の整備

【目指す方向性】

- 時代に対応した多様で魅力ある学校づくりを進めるため、教職員の資質向上や働き方改革の実現に取り組みます。

画像

(画像名)

①教職員の資質向上、教職員の働き方改革の推進

○教職員研修の充実、採用試験の改善

・

○校務のDX化等による働き方改革の推進

・

○コンプライアンスの徹底

・

指標名	現状値	目標値

IV 学びを支える基盤づくり

1 学びの充実に向けた教育環境の整備

【目指す方向性】

- 教育現場においてデジタル技術を活用しつつ、学びを支える教職員の専門性を高めることで、より豊かな学びの環境を提供します。

画像

(画像名)

②教育DXの推進による学びの充実

- ICT等の活用による指導や学びの高度化

・

指標名	現状値	目標値

IV 学びを支える基盤づくり

2 学校施設等の安全・安心の確保、向上

【目指す方向性】

- 児童生徒が安全かつ安心して学べる環境を確保します。
- 学校施設の老朽化対策、環境改善、私立学校の耐震化等に計画的に取り組みます。

画像

(画像名)

①学校施設等の整備・充実

- 学校施設の計画的な整備・長寿命化改修
- 魅力向上のための改修
- 私立学校の耐震化促進
- 通学路等の交通安全対策

指標名	現状値	目標値

IV 学びを支える基盤づくり

2 学校施設等の安全・安心の確保、向上

【目指す方向性】

- 防災教育や安全教育の充実を図り、自助・共助の社会を実現するとともに、自他の安全を守るために適切な判断・行動のできる人材を育成します。

画像

(画像名)

②児童生徒等の安全確保

- 自他の安全を守るために適切な判断・行動のできる人材の育成
- ・

指標名	現状値	目標値